

大人の眉メイク

—若々しく見せる位置・形—

株式会社カネボウ化粧品

眉は顔の印象を決める大切なパーツです。“やさしい雰囲気”や“きりりと引き締まった表情”など、さまざまなイメージに演出することができます。しかし、「眉を整えるのは難しい」「どう描いたらよいかわからない」と思っている方も少なくありません。

また年齢を重ねると、若いころからずっと同じように描いてきた眉がなんだか似合わなくなったと感じることもあるようです。

そこで今回は、カネボウ化粧品美容研究所のメイクアップアーティスト 形部 華（ぎょうぶ はな）が大人にふさわしい眉メイクのコツを伝授します。

◆眉で若々しい印象を演出するポイント

1) 眉の位置

大人の女性は、表情のクセなどによって眉頭や眉山が上がり、眉毛の毛量も減るため、目と眉の間隔が広がる傾向があります。そこで、若々しい目もとをつくるポイントは、眉を目に近づけて見せるように仕上げること。アイブロウで眉の下側に眉毛を補うように描きます。

2) 眉の形

眉の形は、やや太めのなだらかなアーチ、ストレートがおすすめです。眉山を強調しすぎると、眉の位置が上がって目と眉の間隔が広く見え、老けた印象を与えてしまう原因になります。

また、眉尻が眉頭よりも下がらないように描きましょう。

アイブロウなしの眉



眉がまばらで薄く、目と眉がやや離れた印象です

アイブロウで眉山を強調した眉



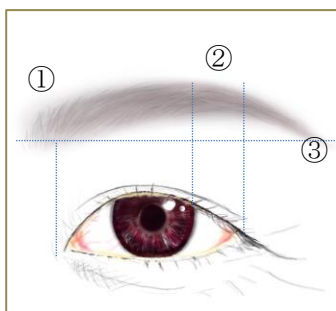
細い眉と眉山の高さのせいで、眉を描いていないときよりも、目と眉の間隔がより広がって見えます。
また、眉頭から眉尻までの濃淡がないため、やや険しい印象となっています。

アイブロウで描くおすすめの眉



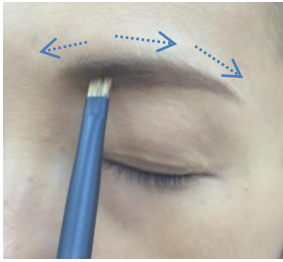
眉の上のラインは触らず、下のラインをアイブロウで描き足し、ふんわりした印象に仕上げました。
毛の密集している眉の中央部分が最も濃く、眉頭と眉尻にかけては自然に薄くなっています。

3) 基本の眉 描き方



基本のプロポーション

- ①眉頭は、目頭の真上よりも内側
- ②眉山は、黒目の外側と目尻の間
- ③目頭と目尻の高さは、水平か、眉尻のほうがやや高い



描き方

①アイブローパウダーをブラシで眉にのせていきます。

眉毛の密集している濃い部分から描き始めます。

目頭に向かっては毛流れに逆らうようにして描き、眉の中央から眉尻に向かっては毛流れに沿って少しずつ描きます。



②眉毛がまばらになっている部分や足りない部分をペンシルで描き足します。

※左右対称の眉を描くのが難しいという方は、パウダーで淡く左右対称に眉の形を整えてから、ペンシルで描き足しましょう。

※商品によって①②の順番が逆になることもあります。

◆アドバイスしたのは・・・◆



形部 華（ぎょうぶ はな）

カネボウ化粧品美容研究所にて、一般女性のリアルなメイクトレンドをリサーチしているほか、ヘア&メイクアップアーティストとして、CMやポスターをはじめ、各種ファッション誌、テレビなどでのメイクアップ・撮影に携わる。メイクスクール「カネボウメイクアップインスティテュート」では、講師として社内外のヘア・メイクアップアーティストの育成に注力。メイクショー、トークショー、講習会などでも活躍中。美容師。